

SHOKEI



第465号
2009年(平成21年)
5月10日発行

リニューアル1周年記念 巻頭特集

尚網学院中・高“09年度からの取り組み” 男女共学1年を振り返って

- 2009年度からの中学校・高等学校の新たなチャレンジ
- 男女共学の初年度は、緊張と期待、そして成長

子羊からの一通の手紙

健康栄養学科教員/佐藤玲子

教職員エッセイ

【梅の花】

○『たらちね』/法人事務局 事務職員 佐々木真也

卒業生コラム

はばたき

1992年 尚網学院高等学校卒業
イタリア在住/フリーライター-観光通訳/本郷智子さん

- 情報掲示板/学校行事報告
- 同窓会だより
- 会費納入者

表紙写真/短期大学保育科卒業演奏会

SHOKEI 465 2009 尚網学院中・高“09年度からの取り組み”男女共学1年を振り返って

発行 尚網学院後援会 〒981-1295 名取市ゆりが丘4丁目10番1号 TEL:022-381-3342
印刷 田宮印刷株式会社 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺5-5-18 TEL:022-295-0281(代)
一冊送料共2,000円

尚網学院大学 「生涯学習講座」案内

09年度の生涯学習事業
前期受講生受付中

“学びに定年はありません。何歳になっても
学びから得られる喜びは大きいものです。”
毎年人気の講座に加え、元気が沸いてくる
講座等もあります。多くの方々の参加をお待
ちしております。
講座等の詳細については、HPをご覧ください。
当センターへお問い合わせください。

問合せ先
尚網学院大学エクステンションセンター
電話:0222-381-3315
Mail:extension@shokei.ac.jp

尚網学院建設整備事業への協力を みなさまのご協力お待ちしております。

4月15日(水現在)707件、総額40,509,176円のご寄附を頂戴いたしました。ご協力いただきまして皆様、厚く御礼申し上げます。
昨年夏に始めました募金事業 ①大学図書館建設 ②中高体育館・グラウンド整備 ③エラ・オー・パトリックホール復元の内、大学図書館建設は基礎工事が完了し、建物の全容が見え始めています。その他の事業も内容の細部検討を経て今年度中に着工する計画です。しかしながら予定した2億円の着金目標額には未だ至っておりません。経済情勢が厳しい折、大変心苦しく存じますが、尚網学院が時代の教育を担うために必要な事業です。1口(5千円)だけでも結構です。多くの皆様からのご連絡をお待ちしています。

連絡・問い合わせ先 法人事務局募金事務室
電話:0222-381-3334
FAX:0222-381-3335
法人ホームページに募金報告を掲載しております。報告内に募金いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。
尚網学院で検索 ↓建設整備事業募金をクリック
リンク http://ap.shokei.jp/book/

リニューアルしました 学院ホームページのご案内

学校法人尚網学院
<http://ap.shokei.jp/>

尚網学院大学
尚網学院大学大学院
尚網学院大学女子短期大学部
<http://www.shokei.jp/>

尚網学院中学校
尚網学院高等学校
<http://sh.shokei.jp/>

尚網学院大学女子短期大学部附属幼稚園
<http://kd.shokei.jp/>

中学・高等学校合唱団 第51回記念定期演奏会

日時:7月7日(火)
18時30分開演 16時開演
会場:尚網学院中高礼拝堂(広瀬校舎)
入場料:300円
曲目:セントポール組曲、
ウエストサイドストーリーより、他
問合せ先
合唱部顧問 鈴木優子
電話:0222-2645881(代)

※卒業生の方々はぜひご参加ください。

後援会総会のご案内

09年度総会は、左記に従って開催致します。多くの会員の方々のご出席をお待ち致しております。

日時:09年6月6日(土)午前10時半より
場所:名取・大学本館3階大会議室
議題:08年度収支決算報告
09年度収支予算案について その他

後援会事務室移転について
09年4月1日より事務室を名取の大学本館3階に移転致しました。今後ともよろしくお願い申し上げます。(住所等は、下記をご覧ください。)

おくやみ
謹んで
哀悼の意を
表します。

栗原曾女子様(94歳)
(法人事務職員萩原弘広様御祖母)
1月20日逝去されました。

平山銀蔵様(89歳)
(大学人間心理学科教員
太田健児様御義父)
1月25日逝去されました。

阿留多伎千鶴子様(82歳)
(大学生生活環境学科教員
阿留多伎眞人様御母堂)
2月26日逝去されました。

宇津志則子様(53歳)
(昭和49年高校卒、
昭和51年短大保育科卒・旧姓関)
2月19日逝去されました。

増野美世志様(85歳)
(大学健康栄養学科教員
鈴木道子様ご尊父)
4月7日逝去されました。

穴戸輝子様(73歳)
(昭和27年中学卒、昭和30年高校卒
昭和32年短大保育科卒)
4月11日逝去されました。

後援会総会のご案内

09年度総会は、左記に従って開催致します。多くの会員の方々のご出席をお待ち致しております。

日時:09年6月6日(土)午前10時半より
場所:名取・大学本館3階大会議室
議題:08年度収支決算報告
09年度収支予算案について その他

後援会事務室移転について
09年4月1日より事務室を名取の大学本館3階に移転致しました。今後ともよろしくお願い申し上げます。(住所等は、下記をご覧ください。)

おくやみ
謹んで
哀悼の意を
表します。

栗原曾女子様(94歳)
(法人事務職員萩原弘広様御祖母)
1月20日逝去されました。

平山銀蔵様(89歳)
(大学人間心理学科教員
太田健児様御義父)
1月25日逝去されました。

阿留多伎千鶴子様(82歳)
(大学生生活環境学科教員
阿留多伎眞人様御母堂)
2月26日逝去されました。

宇津志則子様(53歳)
(昭和49年高校卒、
昭和51年短大保育科卒・旧姓関)
2月19日逝去されました。

増野美世志様(85歳)
(大学健康栄養学科教員
鈴木道子様ご尊父)
4月7日逝去されました。

穴戸輝子様(73歳)
(昭和27年中学卒、昭和30年高校卒
昭和32年短大保育科卒)
4月11日逝去されました。

学校と保護者の皆様を。母校と同窓生を。生徒と保護者の皆様を。もっと尚網を通じてつながって欲しい。そんな気持ちで出来ました!

年6冊5回発送
5月 7月 9月 12月 2月
※9月のみ通常・入募集特集号同時発行

この1冊で、尚網学院の「いま」がよくわかります。SHOKEI



尚網誌購読のお願い

尚網誌の購読を通じて間接的に
母校への支援が出来ますので、ご協力宜しくお願い致します。

- ①尚網後援会にご入会いただくと、機関紙「尚網」が年6冊5回発送されます。(会費は年額2,000円もしくは、複数年でも受け付けております)
- ②購読ご希望の方は、下記にお振込みいただくか、もしくはお電話いただければ、こちらから専用振込用紙を郵送致します。
- ③継続購読ご希望の方は、2,000円以上ご入金いただくか、専用振込用紙を同封致しますので、それをご利用ください。
- ④ご芳名掲載を望まない方は、匿名希望と振り込み用紙の通信欄にご記入ください。

郵便振込口座No 02230-3-2116

お申し込み先
TEL.022-381-3342 電話受付時間 木曜日を除く
FAX.022-381-3467 平日9:00~15:30
E-mail:koenkai@shokei.ac.jp

尚網学院後援会事務局
〒981-1295
宮城県名取市ゆりが丘4-10-1

募集中! 記事を読んだ感想、思い出のお写真、情報等。お待ちしております!

お手紙 おハガキ FAX E-Mail にお送りください。

編集委員 徒然日記

2009年度を迎え、多くの新入生や新任教職員の方が尚網での新生活をスタートされています。尚網生活はいかがでしょうか。

キャンパスでは工事の重機の音、野球のボールを打つ音など様々な音が聞こえてきます。尚網学院は移行期にあると言われており、教務面、施設面問わず新しい一歩を踏み出しています。その歩みの「音」が尚網には響いています。

「変化する尚網」の音をお届けし、尚網に関わる全ての人々の繋がりをサポートする尚網誌でありたいと思っています。(Y・A)

2009年度からの 中学校・高等学校の 新たなチャレンジ

2009年度スタートの中学校の取り組み、
高校総合進学コースの新コースについて
伺いました。

「中学校の新しい取り組み」 「学びの力」探究心

新たなカリキュラムや
プログラムの導入で、
自ら学ぶ力を育成。

校庭の桜も開き始めた4月8日
(水)、男子8名を含む32名の入学式が
行われました。

新しい中高・貴教育のスタートであ
り、目指すのは「国際標準の学力」です。
ゆとり教育、ゆめこみ教育などと呼ば
れるような教育の価値観に翻弄され
ることなく、豊富な授業時数を有効に



使った基礎基本の授業と「考え型の
授業」によって「学びの力」を中高6年
間で実現していきます。

また、キリスト教を土台とする教育
は、神と人に加え、「共に生きる」社会を
創造する心を養います。6年後には、
市民社会に貢献のできる高い学力を
持ち合わせた、未来を創るリーダー
を育成していきます。

**その第一歩として行われるのが、学
び楽しさや、チャレンジする喜びを知
る「たのしみ」の「サイエンスキャン
プ」です。**5月7日(水)～9日(土)、栃
木県茂木町の自然豊かな施設「ツイン
リンク」もてぎを使い、「まちづくり」を
テーマとし、それぞれが自分で問題を
発見し解決するためのプログラムを
経験します。この種が美を結び、花開
く「たのしみ」を願っています。

(中高教員 田嶋誠)



「高校総合進学コースが「文系」と「文理」に 未来を拓け」

「文系」と「文理」に
分かれることで、
将来に直結した
より繊細な指導が可能に。

総合進学コースは「他者とともに生
きる精神」を育む建学の理念が日々の
学習に浸透します。

「文系」には女子42名が入学しま
した。高校2年から「人文」「国際」「保
育」の3つの系に分かれます。高校1
年生は共通の科目を学び、大学入試セ
ンター試験に対応したカリキュラム
で、中学校の学習から高等学校の学習
へ丁寧に移行させます。尚綱学院大
学総合人間科学部現代社会学科表現
文化学科・人間心理学科・生活環境学
科・子ども学科に入試指定校推薦枠を
持っています。

「文理」は男子11名、女子27名が
入学しました。3年後の受験を
見据え、1年生から無理なく、し
かし着実に受験準備を積み重ね
ていくコースです。国公
立大学や尚綱学院大学健康
栄養学科を含む私大の
文理どちらにも対応す
るカリキュラムで、貴



任をもった受験 進路指導をおこな
います。

**全国大会出場のパレーボール部、合
唱部など13の運動部と14の文化部が
ある部活動や生徒会行事で活気のある
学校生活です。また、米国、韓国、豪
州、タイ、ドイツなど全国有数の国際
交流プログラムを持ち、豊かな国際感
覚を育てます。**

(総合進学コース主任 佐藤智子)

男女共学1年を振り返って

尚綱学院中・高、09年度からの取り組み

男女共学の初年度は、 緊張と期待、そして成長

中学校と高校に男子生徒が入学。
その感想を先生方に伺いました。

いろいろな行事を
乗り越えて、
団結する姿に感動。

共学 期生としてスタートを切った
1年A組。初めて出会うクラスメイト
に緊張し、そして一生懸命な連携作
りをしました。女子生徒の多さに男
子生徒が弱腰にならないか、と不安に
思ったこともありましたが、現在では
転入生2名を加え、32名は1つの輪と
して元気に学校生活を送っています。
時々ケケ力もしますが、共に舞台戦を
行ったり、小ホールで楽器の演奏をし
たり、と男女の垣根なく一緒に遊び、そ
して成長しています。

学びの学習でも、各々が役割を持
ち、一生懸命取り組みます。文化祭テ
ーマ学習「サハミット学園」校外学
習水の性質と四谷用水、八幡町地域学
習では、全員が自分の役割に責任を
持ち、また何よりも「楽しい」と興味
を持ち、協力して学び合うことができ



ました。行事や出来事乗り越える
たびに仲が深まり、お互いを信頼して
団結していくこのクラスにめぐり合
えたことを大変嬉しく思い、今後の活
躍が楽しみです。

(08年度1A担任 井上真理子)



男女関係なく、
お互い協力する姿は、
励みになります。

尚綱の教育目標、他者と共に生き
る「を男女共学のもとで実践したい、
という気持ちを私は教員になって数
年目から持っていました。そして奇
しくもその初年度に担任をするとい
う幸運に恵まれ、これまでとした新入
生を迎える準備も心躍る気分でした。
あつこく担任の私が入学式の前
日に高熱を出し学校を休む始末でし
たが、みなさんの助けもあって翌日の
入学式は普段の華やかさに加えテレ
ビ局などのカメラとマイクに囲まれ
た、いつにない期待感高まるものとな
りました。

今年はずっと運営目標のひとつに



「人もうらやむ
初共学クラス
にする」を掲
げました。
そして1年を
振り返りそれが達成できた
と思っっています。特進コースで学
習を第一に生活しますが、5月の学
習合宿ではなかつた互いに教えあつて
問題を解く姿や共同でレポートを作
成する姿が現在では日常的に見られ
るようになりました。行事におい
てはなのおことです。女子が力のある
男子に頼ってしまうのではという危惧
を抱かれていた方もいるかと思いま
すが、一緒に生活しているからこそ互
いの特性が見えてきます。1年7組
はいつの頃から自然に、男だから女
だからという役割分担ではなく1人
ひとりの特性を生かした分担をする
ようになり、文化祭、運動会、合唱コン
クールと回を重ねるにつれ自治的な
活動ができるようになっていきまし
た。クラスの中で互いの存在と能力を
認識する雰囲気は大きな誇りと
いえるでしょう。

今年の特進のメンバーも私たちの
期待以上の活躍してくれました。
これが尚綱らしい姿として継承され発
展していくよう私たち教員もますま
す頑張らなくてはと気が引き締まる
思っています。

(08年度特進1年担任 熊谷千鶴)

卒業を祝う会



冬

尚綱誌 464号の表紙に
もなった中学生のみな
さん。

球技大会



秋

中学 1A 校外学習



中学陸上記録会



夏

特進学習合宿



春

春

尚綱誌リニューアル第1号
の表紙にもなった写真。男
女共学のスタートを象徴す
る写真です。



1年間みんなで仲良く 頑張ってきました！ 思い出写真館





健康栄養学科教員 佐藤玲子

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。」

テモテII 3章16節

ここで聖書とはもちろん旧約聖書ですが、旧約も新約も聖書は私たちに生きる力、知恵をくれます。ただ持っているだけでは何の価値もありません。開いて読んでみてください。聖書はことばの宝石箱です。生きる力になります。一度読んで何を感じなかった言葉が、ある日突然心に響いてきたりします。最近発見したことばがあります。イザヤ書2章22節に「人間に頼るのをやめよ」とありました。私はどうしても人に頼ります。人に話をするので心が軽くなりますが、話したことがとんでもない方向に行ってしまったりします。聖書に「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打

ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」(フィリピ4:6)とあります。神の平和がいつも心にあるように祈っています。すべてが神様のご計画の中にあります。辛いことも時間が経過した時、その意味が分かってくる。神様が必要な経験をさせてくださっているのです。

尚綱に入学したことを、今の時を、与えられたことを、感謝しましょう。一生懸命学びましょう。たとえ結果が思わしくなくても、尽した努力はきっとあなたの力になります。



教職員エッセイ

梅の花

Vol.6

法人事務局 事務職員 佐々木 真也

『たらちね』
可愛く愛らしい、フラッパーガール。なぜか以心伝心の心地よさ!

「しんやしゃんー」
遊具広場に、3歳になった姪の音が響きわたる。

辺りのママたちがくすくすこちうを見て、名前を呼ばれているのは私くらいものだ。預かっている姪です。でも、もともと喧嘩なから、さすがに少し恥ずかしくなった。古典落語「たらちね」の「あくら、我が君「やめてくれ、口の悪い仲間」の心境である。さて本日は、よく我が家に預けられる、このフラッパーガールのお話を少々。

（愛な親子と思われたいな）などと辺りの目を気にしている。当の姪が「しんやしゃん」走ってきた。……。「しんやしゃん、あのね、@%★の……。「気がまわくし立っている。」「さー、さー」と私、傍で聞いている。会話成立つるような間、……。「実は半分も分かってはいない。無学の私には「キョアベリーが……」などと

わかれても、何の事だかさっぱりなのである。メンバーが3人になったことも知らなかったのだ。そんな訳だから、私の返事はさらに訳が分からない。なのに、けろけろいい感じで話が弾んでいくのだ。

まるで清女と八五郎のようである。お互いに言っていることは……？だが、言いたいことは何となく伝わるものである。また、その繰り返すことによって関係が築かれていくのだ。まさか「たらちね」。

1歳になった息子を加えた大怪獣は「しんやしゃん」「あーだー」と雄叫びを上げつつ、遊具を蹴散らし、時に蹴散らされ、例え大泣きしても、前へ前へと進んでいく……。やれやれ、強いものだ。思わず苦笑を浮かべつつも「今行くよ」と3匹目の怪獣が走り出す。こつこつ、嫌じゃやない。

その夜は夫婦でこの日の姪の話で笑いあひながら、少しだけ酒を楽しむ。これが何ともいえず楽しく、好い気持ちなのだ。

どういう訳か、こつこつう日の酒は回るのが早い。ああ、なるほど……。酔って件



卒業生コラム

はばたき 第6回

本郷 智子さん

1992年 尚綱学院高等学校卒業
イタリア在住フリーライター・観光通訳



1992年 3月尚綱学院高等学校卒業
1997年 3月他県大学・社会学部卒業
4月特養老人ホームしらゆり園勤務
2000年 7月シチリア旅行
2002年 「benvenuti taormina」 文芸社 出版・結婚
2006年 「シチリアの風〜アーモンドの花咲く島より〜」 北の杜文庫 出版



Tomoko Hongou

この仕事を選んだきっかけは？

いま私が住むタオルミーナにある紀元前3世紀につくられたギリシア劇場をこの目で見ようと、2000年に旅行で訪れたとき、いずれ主人となるシチリア人に出会ってしまったのをきっかけにこの地に暮らすようになりました。

何度かの滞在を経て結婚したわけですが、自分が嫁ぐところかどうかなどところどころであるのか、滞在中に受けた異文化の中で暮らす驚きや価値観の違いを、まず自分の周りの人に紹介したいと思いい冊目の本を書きました。さらに多くの方にシチリアの魅力を紹介すべく2冊目の本の刊行にいたしました。

現在は1歳半になる子がおりますのでどうしても育児中心の生活になってしまっていますが、近所



のホテルで日本人の到着時のお手伝いから、観光通訳など

異文化や価値観の違いを、知らせたい思いが、自分の気持ちを動かしました!

しています。この仕事を通じていろいろな方とお会いできるのは嬉しいのですが、中でも、「本を読みました」と声をかけていただくこともあり、それがやりがいとなっております。

尚綱時代の思い出

高校時代は部活動(陸上部マネージャー)やホームルーム活動で明け暮れていました。部活動で



は他校との合同合宿などで交流の場が広がったこと、ホームルーム活動では文化祭のバザーの収益金を

当時噴火の被害にあった雲仙市に送ったことなど沢山の思い出があります。何より尚綱で出会った友人、恩師の先生方は今でも私の宝物となっています。

夢を追う尚綱生にアドバイス

人との出会いを大切に、自分にある程度の自信を持ちながらも謙遜の気持ちを忘れずさまざまなことにチャレンジしてください。

TIME SCHEDULE ある日の本郷智子さんを追う!

- 7:30 起床 家事
- 8:00 家族と食事
- 9:00 家事・育児
- 11:30 外出・買い物など
- 13:00 昼食 育児や仕事の下調べなど
- 18:00 ホテルへ出勤 従業員への日本語レッスンや観光通訳など
- 19:30 仕事終了・帰宅
- 20:00 家族と夕食
- 23:00 就寝

情報掲示板

春の青空の下、様々な思いで春を迎えた事でしよう。尚綱学院もまた、あたらしい仲間を迎え、校内も活気に溢れています。新しい尚綱の春を、ダイジェストでご報告します。

幼稚園

修了式

みんな元気にあめでよう！

3月16日(月)暖かい春の日差しの中、修了式が行われました。やっこの時がきたという嬉しさと、大好きな幼稚園先生、友だちとお別れなんだという寂しさが入り混じった表情で登壇し、41名全員が園長先生から修了証書を受け取り、1人で花道を歩くことが出来ました。「おわかれのことば」を心を込めて伝え、「こもだちになるために」の歌は思い出をかみしめながら歌いました。4月からは小学生。沢山の友だちと共に色々なことに挑戦し、自信を持って過ごして下さい。また、愛され守られていることに感謝し、自分も他人を愛せる心の優しい人になつてくれることを願っています。卒園おめでとう！



幼稚園教員 川田裕子

入園式

桜とともに、はるかなる春の訪れを感じた3月17日(火)、尚綱学院中学校の卒業式が行われ、3年A組24名がそれぞれの将来へと大きく飛び出しました。ホームルーム委員としてクラスをまとめてきた高橋清彩さんがクラスの1人ひとり、保護者の方々へ在校生へ語りかけるように、すばらしい答辞を読み上げてくれました。



園庭の桜が咲き始めた4月10日(金)幼稚園の入園式が行なわれました。初めての幼稚園生活、保護者の方々との登壇してきた子ども達、笑顔とちよっぴり緊張した表情でした。

今年度入園式には、3歳児18名、4歳児16名、5歳児4名でした。

ピアノの曲にあわせて子ども達が入場。「おはながわらった」を歌いはじめに司会者からクラスと子ども達の紹介がありました。次に新園長の岩倉政城先生からの挨拶がありました。多くの来賓の方々を代表して加藤正名学院長からご挨拶をいただきました。また子ども達と保護者の方々から楽しみにしていた教職員15名の紹介もありました。

お楽しみのおしゃべりパートと手遊び

では子ども達は一緒に楽しみながら、明日からの幼稚園生活に期待を膨らませている様子でした。当日は天候にも恵まれ、元気いっぱいの子どもの声が響いた入園式の日となりました。

中学校

新しい気持ちで胸に

卒業式

春の訪れを感じた3月17日(火)、尚綱学院中学校の卒業式が行われ、3年A組24名がそれぞれの将来へと大きく飛び出しました。ホームルーム委員としてクラスをまとめてきた高橋清彩さんがクラスの1人ひとり、保護者の方々へ在校生へ語りかけるように、すばらしい答辞を読み上げてくれました。

思えば昨年の4月、3Aのみんなは、中学校のことは何もわからないとうしようもない担任をいつも温かく迎えてくれましたね。さらに3Aは何よりも行事を大切にしたり、クラスの遠足、中学校として始めて取り組んだ陸上記録会・みんなフェアトレー

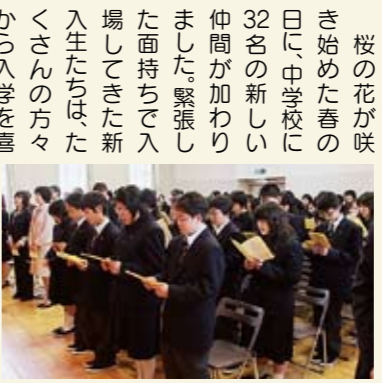


卒業式の様子。在校生が答辞を読んでいる様子。

入学式

新しい仲間と共に

ドカフェ&文化祭、学びを深めた校外学習等...数え上げたらきりがありません。一つ一つの行事に大切な思い出が残りました。時には衝突もしたけれどいつも本気で私に話しかけてくれるみんなの顔が忘れられません...。楽しい思い出をありがとう。



入学式の様子。在校生が答辞を読んでいる様子。

桜の花が咲き始めた春の日に、中学校に32名の新しい仲間が加わりました。緊張した面持ちで入場してきた新入生たちは、たくさんの方から入学を喜ばれる1日を過ごしました。

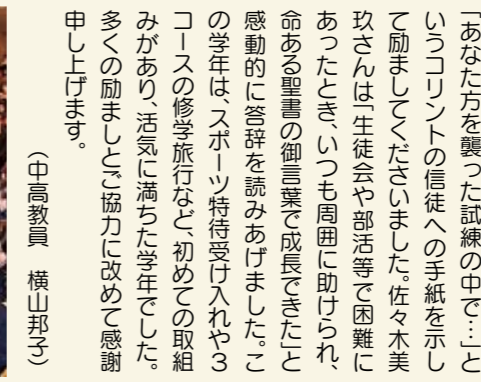
校長先生と学院長先生がお祝いの言葉のなかでしてくださったお話を深く考え、それぞれが持っている素晴らしい宝をどのよう人のためにも惜しみなく使い、それぞれに与えられた役割を十分に果たせるように、そして入学式で約束したとおり尚綱生として誇りをもって、充実した学校生活を送ってくださることを期待しています。

(1A担任 中村裕希恵)

高等学校

卒業式

新しい世界への巣立ち
高等学校は3月2日(月)に卒業式が行われ、3年生全員の253名が無事巣立っていきました。校長先生は激しい社会状況の中に旅立つ卒業生へ、「あなた方を襲った試練の中で...という」リントの信徒への手紙を示して励ましていただきました。佐々木美玖さんは「生徒会や部活等で困難にあったとき、いつも周囲に助けられ、命ある聖書の御言葉で成長できた」と感動的に答辞を読みあげました。この学年は、スポーツ特待受け入れや3コースの修学旅行など初めての取組みがあり、活気に満ちた学年でした。多くの励ましとご協力を改めて感謝申し上げます。



卒業式の様子。在校生が答辞を読んでいる様子。

(中高教員 横山邦子)

入学式

2年目の新しい春

桜のつぼみが開き始めた4月8日(水)、217名の新入生を迎え入学式が行われました。特別進学コース37名中男子12名と今年度から総合進学コースに設けられた文系クラスと文理クラス(38名中男子11名、男女共学2年目)がスタートいたしました。校長先生から17年前に誕生した尚綱学院が幼稚園から大学院までを有する総合学院として発展していること、その伝統を大切にしながら新たな一歩を踏み出して欲しいなどと話されました。新入生を代表して尚綱中学出身の目下純さんからキリスト教を学びの基本としてこれからの高校生活を美りあるものにし、この誓いの言葉が述べられました。ひとりひとりが、しっかりと目標を持って3年間を有意義なものとして欲しいと思いをもちます。



(1年総合進学コース主任 今村千代)

2008高校進路状況

08年度は大学短大進学率が増加74% (ちなみに07年度62%、06年度63%。大学短大の進学率) (昨年度151名、今年度187名)、専門学校進学率が減少(昨年度56名、今年度29名)、今年度は大学志向が高まりました。地元志向も強く特に尚綱学院大学、東北学院大学、東北福祉大学に志願者が集中しました(尚綱94名、学院62名、福祉50名)。AO受験者も多くなり、尚綱大では昨年度6名、今年度21名と急増しました。AO入試導入大学も多くなり、かなり広く知られるようになったこと、そして早く合格を決めたい生徒と早く優れた人材と第一志望者を確保したい大学の利害が一致した結果と捉えることができると思います。国立立大学の

2009中学・高校入募入試状況

男女共学がスタートしてから2年目の入試が終わり、中学校で32名、高校で217名の新入生を迎えることができました。男子の期生は、中学校8名、高校23名となり、昨年度に比べ大きく共学を進めることができました。

中学校では、中高一貫教育の6年間教育を打ち出し「未来を創るリーダー」を育てるプロジェクトと6年後の高い進路目標の達成をも見据えた指導体制と充実した学習環境をアピールしてきました。今年度、仙台市内で「青陵」という中高一貫校が

進路別状況 2008/03/19現在

大学	国公立	私立	人数	分類計
大学	2	151	153	60.2%
短大	0	34	34	13.4%
専門学校	2	27	29	11.4%
留学			3	1.2%
就職			8	3.1%
予備校			2	0.8%
家事・その他			4	1.6%
未定			21	8.3%
学年人数			254	

高等学校入試状況

	志願者	合格者	入学者
特進一般	445 (76)	344 (54)	7 (12)
特進推薦	3 (0)	3 (0)	
総進文理一般	189 (20)	215 (29)	8 (11)
総進文理専願	4 (3)	3 (3)	
総進文理推薦	10 (2)	10 (2)	
尚綱中	3	3	
総進文系一般	371	420	142
総進文系専願	10	8	
総進文系推薦	44	44	
尚綱中	13	13	
2009年度	1092 (101)	1063 (88)	217 (23)

*特別進学コース(特進)から総合進学コース(総進)へのスライド合格者を含む
()内数字は男子生徒

中学校入試状況

	志願者	合格者	入学者
2007年度	27	25	25
2007年度	42	29	29
2008年度	36	31	30
2009年度	39	34	32

※男子生徒8名

レナマリアチャリティコンサート

沢山の気持ちがあつまりました



2月27日(金)にレナマリアさんをスウェーデンからお迎えし、高3卒業礼拝とチャ

リティコンサートが行われました。チャリティコンサートは皆様のご協力により、1,000人近い方にお越しいただき、礼拝堂が満員になるほどの大盛況のうちに終えることができました。コンサートの収益は目標を超える1,173,556円となり、タイ・カレン族サハミット学園の子どもたちのために使われます。ご協力に心から感謝いたします。

(宗教主任 佐藤 洋晴)

【その他の報告】

バレー部 第40回全国高校バレーボール選抜優勝大会 宮城県予選 第3位

【訂正】

464号高等学校・修学旅行の中で、沖繩とオーストラリアの写真が誤って掲載されました。関係者の皆様に深くお詫言申し上げます。

情報掲示板

大学・短期大学

卒業式

穏やかな春の日和に恵まれた3月18日(水)、大学の卒業式が仙台サンプラザで挙行政され、大学生2,009名、短大生1,509名、短大専攻科生10名がこの日を迎えました。また大学院初となる修了生10名を世に送り出す記念の式ともなりました。佐々木学長から、厳しい社会情勢の中、競争ではなく協力しあう心、大学の教育の柱でもある「他者との交わりに生き、共に生きる」ことをよびこむことを大事にし、それぞれの道を行ってほしいとの饒の言葉があり、卒業生代表として大学工藤真喜子さん、短大渡邊由莉香さんが、学生生活の思い出やこれからの抱負を



話され式が終了いたしました。教職員一同、卒業生の皆様のこれからの活躍を祈念いたします。

(大学事務局 総務課)

入学式

賛美歌で厳かな気持ちに



尚綱学 院大学の入学式が4月3日(金)仙台サンプラザで挙行政され、今年度は大学院生8名、学部学生396名、短大生1,74名、専攻科12名を含む総数5,78名の入学を迎えました。男女共学四年制大学「子ども学科」の2010年度新設が予定されていることから、短大保育科としては最後の入学式となりました。

入学式は賛美歌で始まり、式辞で佐々木学長が、希望を持ち続け地道な努力を重ねることが大切であると聖書を土台に話されました。学部右川俊太郎さん、短大佐々木美矩さん、短大専攻科渡邊紫野さん、大学院大宮卓さんが代表して入学宣誓をおこない、これからの学生生活に決意を新たに式を終りました。

(大学事務局 総務課)

仙台フィルとのコラボレーション 保育科卒業演奏会



2月26日(木)青年文化センターにて第26回保育科卒業演奏会が開催されました。第1部は、音楽コースによる合唱、手作り衣装が目でも目でも楽しめるステージとなり、第2部は、保育科全学生と仙台フィルハーモニー管弦楽団テノール歌手の佐藤淳一先生にご共演いただき、オペラやポップス、合唱組曲を合唱しました。春からの練習や合宿で指導いただいたおかげで、1人1人の意識が高まり緊張感の中、歌いきることが出来、達成感と感動そして先生の笑顔に心が熱くなり涙を流す仲間の姿もありました。ご支援、ご来場いただいた皆様、厚く御礼申し上げます。



(実行委員長 渡邊紫野)

2009年度新任者のご紹介

新学院院长挨拶



かとう まさな
加藤 正名
東北大学大学院工学研究科修士工学博士(東北大学)
東北大学工学部精密工学科教授
秋田県立大学システム科学技術学部教授
尚綱学院理事長

尚綱学院は、いま、大学子ども学科新設、中高男女共学化などの教育改革が進み、幼稚園から中高・大学までの総合学院として新しい飛躍に向けて歩み始めています。設備の面でも、新図書館の建設・中高体育館の整備・エラ・オー・パトリックホールの移築などの事業が進んでいます。しかし、一方で、少子化の波の中で、昔では私学の淘汰が囁かれています。

六戸前学院長の、ご退任を受け、4月から尚綱学院の学院長に就任しました。責任の重さを痛感しています。

尚綱学院は、創立以来、17年もの間、それぞれの時代にあつて多くの有為な卒業生を世に送り出してまいりました。今こそ建学の精神に立ち帰って、学院がなすべきこと、今日社会から負託されていることを見定めることが大切だと考えています。尚綱に連なる学生、生徒、教職員が学院の大きなまほろしを見定め、思いを一つにすることが大切だと考えています。

そのためには、同窓生の方々、尚綱を応援して下さる方々のお力がぜひ必要です。どうか尚綱のためにご声援、ご協力をお願いいたします。

2009年度入学者選抜入試状況

2009年度入学者選抜における延べ志願者数は、総合人間科学部5学科で1,477人(前年比+20)、保育科239人(前年比△66)であった。各学科の志願者合格者、入学者の数は別表の通りである。なお、専攻科保育専攻には12名が入学し、大学院総合人間科学研究科(修士課程)には心理学専攻に3名、健康栄養科学専攻に5名が入学している。最近3年間(2007~09)の述べ志願者数の動態をグラフに示している。この間、東北6県の18歳人口は593,322人減少しているが、表現、現代社会の3学科の志願者数が大幅に増加したことは、3学科の知名度が高まりに上昇していることを伺わせる。尚綱学院高校からの志願者は入試区分全体で約90名に達し、尚綱学院高校は志願者数の最も多い高校に復帰した。一般高校では、名取北38(前年比+7)、第三女子36(△10)、仙台西33+

学科	志願者(前年)	合格者(前年)	入学者(前年)
表現文化	174 (157)	83 (116)	66 (72)
人間心理	288 (309)	133 (198)	88 (114)
現代社会	251 (237)	156 (160)	80 (99)
生活環境	135 (112)	99 (110)	70 (69)
健康栄養	299 (312)	137 (213)	94 (100)
保育	239 (305)	183 (207)	164 (169)

1、(仙台青英30+6)、泉松陵28(△0)、多賀城27+3、(仙台26+2)、仙台東26(△3)、聖和22+6、角田20(△7)、柴田20(+4)の順である。
(入試入試部長 大下健幸)

大学新図書館の愛称決定

現在建設が進められている大学新図書館の愛称について、昨年12月より学生・学内教職員を対象に募集したところ、77件に及ぶ応募がありました。新図書館名称審査委員会での厳正なる審査の結果、最優秀賞1名、優秀賞2名を選出いたしました。おめでとうございます。なお授賞式は9月末予定の図書館竣工式とあわせて行う予定です。多数のご応募ありがとうございました。

- 最優秀賞
現代社会学科2年 古川謙太郎さん「アルモaimo」
- 優秀賞
表現文化学科2年 佐藤千尋さん「尚綱の心」
表現文化学科2年 山本あゆみさん「STAMVIC(スタンビック)」
(大学事務局 総務課)

採用:専任教職員



にしかわ えみこ
西川 恵美子
大・短保健センター
保健担当職員
(2008年10月1日付)



てらい けんや
照井 健也
大・短入試広報課
事務職員
(2008年12月1日付)

採用:専任教職員



すがわら まさかず
菅原 正和
大学 人間心理学科
教授 兼 大学院担当



あかさか かずあき
赤坂 和昭
大学 健康栄養学科
教授 兼 大学院担当



ほし せいこ
星 清子
大学 健康栄養学科
准教授



ほし せいこ
星 清子
大学 健康栄養学科
准教授



かわにし たつや
川西 達也
大学 現代社会学科
講師



かわばた たけやす
川端 壮康
大学 人間心理学科
講師 兼 大学院担当



おおかわ わたる
大川 亘
大学 生活環境学科
講師



やまおか まさはる
八巻 正治
短大 保育科
教授



やすだ つとむ
安田 勉
短大 保育科
教授

退任者のご紹介

学院院长 六戸朗大

(勤続2年6カ月)

私は1989年、短大に人間関係科が開設されるのに伴って、再び尚綱で働く機会を与えられました。この20年の間、創立100周年、短大開学50周年、4年制大学開学と3学科増設、大学院開設、中高の共学化等学院の大事な節目に居合わせる事ができたことを感謝しております。またこの間、浅学非才にもかかわらず短大理事長、学院院长を歴任しましたが、私はこれらを「神の召し」と受けとめ、「神は万事を益とするようにして下さる」(ローマ8:28)ことを信じてそれぞれの職務遂行に努めました。そのため、学内、外の多くの方々に数えきれないほどのご厚情、ご支援を賜りました。ご厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

少子化と経済不況により私学を取り巻く環境は厳しくなる一方ですが、学院が建学の精神と伝統を継承しつつ、新しい時代に



3月30日退任式にて

ふさわしい教育機関として発展させます。折ってお

長い間大変ご苦労様でした



増子 貴紀
中学校・高等学校
国語科 教諭



小島 和幸
中学校・高等学校
社会科 教諭



渡辺 圭太郎
中学校・高等学校
聖書科 教諭



宮川 了一
中学校・高等学校
保健体育科 教諭



三井 幸恵
中学校・高等学校
看護 教諭



遠藤 育美
大学・短期大学
入試広報課 事務職員



佐藤 司
大学・短期大学
総務課 事務職員

人事(2009年4月1日付け)

〔任用〕
幼稚園園長……………岩倉 政城
大学・短期大学 副学長……………松田憲次郎
幼稚園教頭……………甲原 園子
(大学院)
研究科長……………神尾 好是
(大学)
表現文化学科長……………梅津 義宣

人間心理学科長……………安井 猛
現代社会学科長……………不破 和彦
生活環境学科長……………斎藤 紘一
健康栄養学科長……………布木 和夫
(短大)
保育科長……………斎藤 久六
(大・短)
宗教部長……………佐藤 玲子
教務部長……………木村 清
学生生活部長……………水田 恵三

入募入試部長……………桂 重樹
進路就職部長……………杉座 秀親
図書館長……………阿留多伎真人
保健センター長……………荒川由美子
情報システムセンター長……………小原 俊文
エフエフセンター長……………太田 健児
教育開発支援センター長……………斎藤 紘一
(大学院担当)
大学 人間心理学科 講師
小泉 嘉子
(保育科特別教員)
短大 保育科 教授……………佐藤 陽子
短大 保育科 教授……………森 彬
短大 保育科 教授……………鶴間 順子
〔昇格〕
大学 人間心理学科 教授……………太田 健児
大学 生活環境学科 教授……………村山 和弘
大学 生活環境学科 教授……………久慈るみ子
大学 人間心理学科 准教授……………今井 誠二
大学 人間心理学科 准教授……………目黒 恒夫
短大 保育科 教授……………東 義也
※専任のみの紹介とさせていただきます。

皆様のご芳心に心より感謝申し上げます。

今回のご芳名は(11月1日〜3月31日まで)同窓会、後援会受付分の掲載です。現在、尚綱学院で行っております。建設整備事業募金にご協力いただいた方のご芳名は、ホームページに掲載させていただきますので、ご覧ください。

特別寄付金(同窓会受付分)

○チャペル基金として
(団体)
金二五八八五円 関東支部様
金四六八五円
…聖書に親しむ会代表千葉シン様
(個人)
上西義昭様 宍戸朗大様、
小林孝男様 東義也様、
佐藤玲子様 大学事務室様
○エラオー基金として
吉田恵子様

2008年度卒業生後援会 入会者(ご芳名(敬称略))

大学健康栄養学科
大竹央子 小野杏奈 坂本千鶴
鈴木太 三上智美 荒井典子 佐藤元
佐藤明奈 鈴木麻美 佐藤友香
安藤由恵 大場真奈美 佐藤友梨
高橋大志 阿部結美 齊藤邦忠
八戸悠子 佐藤尚子 渡部英里
大学人間心理学科
川村奈穂子 土井宣和 阿部友美
今井寿治 佐々木雅美 石黒あゆ美
小山内友美 佐々木千明 菱沼いずみ
松田浩美 三浦耕平 井上亜由美
坂本奈津子 千葉秀美 嶺岸里美
渡部尚子 大谷部美香 岡崎由梨
小林篤郎 齋藤明香 高橋朋恵
細川抄子 遠藤めぐみ

大学院心理学専攻
秋保慎太郎 丹野志保子 長濱加那子
大学院健康栄養科学専攻
千葉さやか
短期大学部保育科
中川知美 中里麻美 加藤晶子
佐々木しほ 鹿野真美 日下さつき
佐藤美緒 高橋聡美 松尾祐理
伊藤千恵 菊池美南 島影怜奈

沼澤千広 安倍祥子 大橋步佳
小野寺友里 佐々木瞳 東海林寿美
芝原安希 橋本百世 山形佳世
小野雪香 五嶋綾佳 宍戸華菜恵
谷藤未希 松岡真美 石黒絵美
遠藤香織 長利美音 小宮山智恵
日野由美子 笠原歩美 鹿野よしえ
藤本麻美 宮本麻衣子 渡邊知美
山本洋子 加藤早紀
短期大学部保育科専攻科
塚野志保子
高等学科
阿部久瑠美 植田奈央 小野文子
葛西七咲 橘川沙弥 香沢早織
蔵本真子 近藤里穂 高橋詩織
深見千夏 本堂詩織 横岡佑
加藤紀子 佐藤歩 佐藤千尋
佐野華奈絵 庄司美咲 中島美和子
三浦あずさ 渡部寛子 安住美佳
加藤早織 加藤怜子 川添早甫子
菊地恵美 来栖花 小出加奈子
佐藤可菜 佐野絵理香 武田彩花
廣瀬優佳 吉田元子 齊藤邦忠
今村仁美 小松真麻 佐藤彩香
下道あゆみ 柴田ゆりか 高木奈生子
高橋菜 坪谷香名子 堀岡奈々
森村早紀 師岡久香 渥美芽生
岩田祥子 菊地郁 黒崎莉絵
小原冨貴 金野あゆみ 庄子理紗
高橋彩香 高橋都生子 立花生成
丹野絵里子 丹羽博美 宮脇智子
守あゆみ 伊藤亜沙美 遠藤倫実
菅野みゆき 齋野ありさ 寺川聡美
早坂しおり 本郷智子 松井温美
横尾綾美 阿部英里 氏家早也佳
斎藤有利 佐々木萌衣 白江ちなみ
鈴木美菜 高野薫 丸山仁美

後援会会費納入者(敬称略)
賛助会員
●金一〇,〇〇〇円
渋谷絃子 丸山智恵美 高橋脩
●金六,〇〇〇円
高橋知子
●金五,〇〇〇円
小林令児 乙坂ひで 八田さと子
●金四,〇〇〇円
梅村徳子 近江節子
工藤清美 我妻良子 大久保寛子
松尾重信 長池秀子 堀内紀子
●金三,〇〇〇円
遠藤浅治 遠藤あさ子 菅原菜
荒井知香 岸川嘉恵
●金二,〇〇〇円
三浦充子 関根礼子 井浦郷子
佐藤茜 嶺岸久子 佐竹陽子
菅原典子 椿谷真貴子 稲村美帆
平塚ヤス子 今野紀 丹野香奈子
柄沢奈央子 大塚涼子 丹内友美子
廣田未来 宍戸素子 水原若菜子
成田未来 岡崎美砂 澤竹まつ子
佐々木征恵 渡邊郁江 宮城悦子
武村洋子 千葉シン 笹原久仁子
玉手道子 山田とき子 鈴木みゆき
三戸詩織 藤田純子 丹野英機
三戸部英子 加藤和子 岡崎美江子
竹花政孝 勝山榮子 後藤弘生
加藤宏子 藤原美重子 藤上弥生
沢村園子 小野寺玲子 清水美智子
池田世子 小山内まり 村田敏江
藤川みき子 金須たま 大島良雄
菅田時子 都築裕孝 浅野純子
川本多美 武井優 鈴木昭子
坂田美奈子 上野久美子 菊池洋子
大内喜美枝 穴戸輝子 佐野明子
佐藤光子 遠藤裕子 千田佳澄
渡部美穂 永瀬宮子 菊地文武
鈴木恵里子 佐藤道子 塩井順子
後藤美代子 平田チエ子 上岡育子

同窓会会費納入者(敬称略)
特別会員
●金一〇,〇〇〇円
大崎節郎
●金五,〇〇〇円
乙坂ひで 木村中外
●金三,〇〇〇円
菅原菜
●金二,〇〇〇円
遠藤浅治 遠藤あさ子 菊地文武

後藤美代子 築館みちこ
正会員
●金一〇,〇〇〇円
亀岡宏子 三浦尚美
●金五,〇〇〇円
佐々木仁子 松尾美保子 村田敏江
井口美恵 近江節子
●金四,〇〇〇円
高橋知子 菊田弘子 長池秀子
●金三,〇〇〇円
後藤りん 清水美智子 佐野明子
遠藤裕子 鈴木恵里子 押永雅耶子
若松佑子 岩淵由美 小林悠子
中目ひろ子 岸川嘉恵 小山内まり
●金二,〇〇〇円
三浦充子 鈴木優子 佐藤尚子
関根礼子 嶺岸久子 平塚ヤス子
齊藤直美 稲村美帆 宍戸素子
岡崎美砂 澤竹まつ子 佐々木征恵
山田とき子 鈴木みゆき 鈴木道子
千葉シン 藤田純子 三戸部英子
加藤和子 野上弥生 岡崎美江子
勝山榮子 加藤宏子 石川満子
沢村園子 池田世子 堀内紀子
藤川みき子 金須たま 菅田時子
堀米伯江 鈴木昭子 坂田美奈子
大内喜美枝 八田さと子 永瀬宮子
平田チエ子 駒井まさ子
渡辺富寿子 真中澄穂 豊島慶子
大原邦子 大槻千春 齋藤子
小黒恵子 添田紀子 柿崎千恵
小澤恵子 吉田朋子 山本佐知子
大友芳子 飛田彩香 立沢千恵子
福田勝子 朝長スミエ 橋本禮子
佐藤子 菅原真久 秋山妙子
小野すずの 阿部嘉久 道又百合子
瀬谷幸子 吉田恵子 相原のぶ
堀口睦子 本堂富貴子 佐々木えつ子
遊佐ひでよ 安達順子 小山峯子
鈴木由紀子 鯉淵芳子 清野泰子
堀内紀子

同窓会 コーナー

吉野作造記念館を 訪ねて

3月24日(火)同窓生の皆さんと吉野作造記念館を訪ねました。吉野が残した書籍や、その時代の貴重な写真からは、民本主義実現に努力した生涯を垣間見ることができました。吉野の思想の原点はミヌ・プセルの聖書研究会であったことも再認識しました。そこは、尚綱の卒業生にとって吉野を身近に感じ、この空間でもありました。館長の田中様には不意の私共を館長室に案内頂き、吉野逸話を楽しく拝聴できたことなご生涯の日となりました。(佐々木南子)



2008年度 同窓会入会式

同窓会役員はじめ、会員の有志が参加し、高校253名、大学219名、短大169名の今年度卒業生同窓会入会式を執り行いました。皆様により近い同窓会としての歩みが続けてまいります。【お願い】住所変更、氏名変更等あった場合、情報をお窓会へお知らせ頂く様お願い致します。



「八三三」のご案内

創立者フヰル先生を偲び北山霊園にて墓前礼拝を守っております。お誕生日の8月3日から「八三三」と名称致しました。

○日時 8月3日(月)
午前10時半より
○場所 輪王寺内北山霊園